

参議院議員選挙の結果について

2013年7月22日
電気事業連合会
会長 八木 誠

このたびの参議院議員選挙の結果、与党が過半数を獲得し、衆参のねじれが解消されたことは、デフレ脱却・日本経済再生といった現政権の路線に対する信任であり、迅速かつ着実に政策を推進していくことへの国民の期待の表れと受け止めている。

わが国は、目下、震災復興はもとより、経済再生、財政・社会保障制度改革、さらには、エネルギー問題や外交・安全保障問題への対応など、課題山積の状況にある。

資源に乏しいわが国においては、原子力も含めたエネルギー資源の多様化により、安全の確保を大前提とした3E（安定供給、環境保全、経済性）の同時達成を目指すことが大変重要である。したがって、エネルギー政策を国の基幹政策としてしっかりと位置付け、中長期的にぶれることなく推し進めていただきたい。

政府与党には、引き続き政治のリーダーシップを発揮することにより、社会経済の下支えとなるエネルギー政策を含め、真に国益や国民の立場から重要政策を進めていただくことを期待する。

以 上